



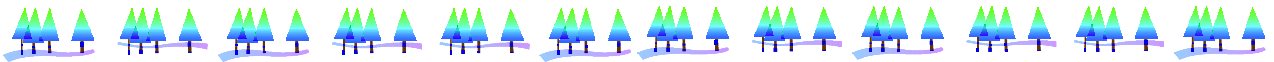
桜木地区子どもたちの環境を考える会議

2月1日（木）の夜、桜木中学校を会場に、会議が行われました。この会議は、子供たちを取り巻く様々な環境をよりよい方向にしていくことを目的に、もう21年間続いているものです。桜木地区の自治会等の地域の関係団体の代表、桜木地区にある保育園・幼稚園・小学校・中学校・高校の関係者が50名ほど集まり、それぞれの園・学校の様子や取組を報告し合ったり、地域における生活環境の現状と課題・対策について話し合ったりしました。

このような会議は他の地区にはないもので、園と学校との連携の強さ、また地域の皆さんの子供たちにかける思いが、伝わってくる会議でした。



＜桜木中木村校長先生のご挨拶＞



豆まき集会～心の鬼を追い出そう 2/5(月)



2月3日は節分でした。節分は、季節が変わる立春、立夏、立秋、立冬の前日を言いますが、中でも、寒い冬から暖かい春に変わる立春の前日の節分は、1年の変わり目として大切にされ、1年を無事に過ごせるように願い、豆まきをするそうです。この行事は、中国から1300年あまり前に日本へ伝わったものです。

本校でも代表委員会が企画し、豆まき集会を催してくれました。当初は、2月2日（金）に開催する予定でしたが、あいにく夜中から雪が降り続き、通常通り児童が登校できないかもしれないということで、月曜日に延期したものです。当日は、豆まきの歌を全校で歌ったり、節分の由来をクイズを使って代表委員に説明してもらったりしました。また、「心の鬼を追い出そう」ということで、自分の心の中にいる鬼をあらかじめ紙に書いて丸めておき、鬼役の児童めがけてそれを投げるといった豆まきのまね事も行い、盛り上がりました。

児童の紙豆に書かれた心の鬼には、「字が乱暴な鬼」「さぼり鬼」「忘れ物鬼」「手悪さ鬼」などがあり、一人一人自分の直したいところに良く気付いているのが分かりました。

3年生による珠算学習 2/5(月)

この度、3学年では、算数の学習の一環として、外部講師を珠算連盟に依頼し、そろばんの歴史やしくみなどについて学習しました。

講師として来ていただいたのは、昨年度に引き続き本校学区内にある毒島珠算塾の生形先生です。そして、桐生駅北側にある佐々木珠算塾の佐々木先生にも来ていただきました。普段使い慣れていないそろばんなので、つい指を動かさないと頭で計算してしまう児童もいましたが、先生の丁寧な指導で、基本的な計算方法をしっかり身に付けることができました。算数の授業としては、3月にまた扱う予定です。



桐生市いじめ防止子ども会議(桜木中ブロック)

この会議は、2月6日(火)に、桜木中学校を会場に行われたもので、昨年度より中学校ブロックごとに開催され、児童生徒の交流も含め、同じ地域の子供たちで、いじめのない健全な地域づくりをめざして開かれました。会議のメンバーは、小学校5・6年と中学校1・2年の各学級代表と、各校保護者代表、各地区地域住民代表、学校関係者、市教育委員会事務局職員で、児童生徒主体のいじめ防止活動について話し合いました。本校の保護者代表は、PTA本部役員の津久井さんで、児童生徒に交じり、いろいろと意見を述べていました。

まずはじめに、各学校ごとに、いじめ防止のために、どのような取組をしているか発表し合いました。その後、三つのグループに分かれて、「ふざけ」と「いじめ」について、グループ討議をしました。グループの中からは、「仲の良い同士ふざけていたが、他の友達がふざけに加わって、結局いじめにつながってしまった」などの例が挙げられていました。



今後、どのような行動を取るべきかという意見では、「相手の表情などから、相手の気持ちを察し、傷つけたようならすぐに謝る。」「自分の気持ちを相手にしっかり伝える」「第三者が、困っている人に寄り添ったり、相談にのってあげたりする」などが出されました。今回出された意見が、桜木中学校、桜木小学校、神明小学校の3校全体に広がり、実行されていくことを願います。

